

# とみたのお宝マップ

富田地区は大野盆地の東部にあり、東は九頭竜川、西は真名川の二大河川に挟まれ、日本百名山に数えられる荒島岳の北西のふもとに細長く広がる純農村地帯です。

古くは、塚原野と栗原野という二大原野を形成していました。そして、この原野の東西を美濃道(現.国道158号)、五箇道(現.県道大野・勝山線)が、南北を荒井道(現.県道五条方・下荒井線)が走ります。

こうした地形が富田地区の歴史や風土を育み、現在も多くの地蔵や石碑などが保存されるとともに祭事が継承され、また、それらにまつわる民話や昔話も語り継がれてきました。

心安らく田園風景のなか、“とみたのお宝”めぐりをお楽しみください。

富田地区むらづくり運動推進協議会

## 日本百名山

### 1 日本百名山「荒島岳」(蕨生区)

荒島岳は、富田地区の南端に位置し、標高1,523m。別名大野富士とも称され、深田久弥氏の日本百名山に選定されています。山頂には荒島神社があり、信仰の山とされてきました。



中出登山口駐車場(P38台)には水洗トイレのほか、ベンチや足水浴槽が設けられ、疲れを癒すスポットとしても登山者に好評を得ています。

また、登山道口には夏場でも枯れることなく湧き出る水郷の清水があります。

## 神社仏閣

### 2 下唯野「南専寺」(下唯野区)

山門 ※ 福井県指定文化財

1672年頃、永平寺境内に造られた4代福井藩主松平光通の正室清池院の廟所の正門を1780年に移築し、山門として再建されました。竜や鳳凰などの豪華な彫刻が施され、江戸前期の貴重な建築物を見ることが出来ます。

庭園 ※ 福井県指定文化財

江戸時代中期に造られた回遊式林泉庭園です。築山の上に三尊石が組まれ、池の岸には礼拝石が据えられており、また、園内には鶴島と亀島、導水路の途中には自然の滝を表現した「滝石組」が組まれています。

### 3 埴安姫神社 弁財天堂 (蕨生区)

埴安姫神社の境内には六つの社が祭られており、弁財天様をお祭りしているお堂は、昭和14年、集落の大工が独学により大げやき一本だけで建立しました。



### 4 稲荷神社 (七板区)

七板の稲荷神社は石段を10段ほど上がった、山の中ほどにありましたが、夢のお告げに「七板の家々が一目で見渡せるところに上りたい。」とあったことから、さらに石段を30段余り築いたところに境内を作りました。今も、境内が下と上にあるのはその名残りだそうです。

## 石碑、地蔵、岩

### 5 大将軍の碑 (木落区)

木落区の白山神社に、高さ60cmほどの細長い自然石に、日、月、雲の文様が刻まれ、中央の四角い枠に「大将軍」と記された碑があります。

大将軍の碑は中国から伝わった道祖神信仰の現われといわれ、魔よけの神として、福井県では大野にだけ残っている珍しいものです。



### 6 御所五郎丸の墓 (土打区)

鎌倉時代、源頼朝が富士山の裾野で巻狩りを行ったとき、頼朝の重臣工藤祐経は、父の仇として曾我兄弟に討たれました。兄弟の兄祐成は討死しましたが、弟時致を御所五郎丸が抱きかかえて捕らえたことから、その恩賞として現在の富田地区と阪谷地区を頼朝から拝領したと伝えられています。

御所五郎丸の墓は、奥方の墓とともに土打区内に、また、子の墓は尚徳中学校近くの高台に残されています。

### 7 流れの地蔵 (蕨生区上唯野)

平家の落人が現在の上唯野の辺りを通りかかったとき、川で洗い物をしていた娘に城への道を尋ねましたが、娘は城とは別の方向を教えたそうです。たまされたと気付いた武士は、一刀のもとに娘を切り捨てました。

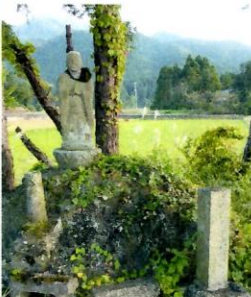
流れの地蔵は、この娘の霊を弔うために祭られたそうです。



### 8 廻り地蔵 (蕨生区上唯野)

集落内の小さな子が病死し、皆が嘆き悲しんでいたとき、夢枕に立たれた仏様のお告げにあった所から掘り出されたのが、現在、お祭りしている地蔵さんです。

この地蔵さん、風の当たり具合で向きが変わり、天気予報の役目をするとのこと。



### 9 馬の首地蔵 (下唯野区)

JR下唯野駅から上唯野へ向かう坂道(小道)を登ったところに大きなしいの木がありました。昔は、馬を殺して首を切ったので、その首が幽霊になってこの木にぶら下がると言われ恐れられたので、地蔵さんを祭ったということ。



### 10 富嶋の六地蔵 (富嶋区)

### 11 おけや地蔵 (土打区と上野区の間)

### 12 栗原の六地蔵 (上野区と下麻生嶋区の間)

### 13 道案内地蔵 (上野区と川上区の間)

昔、富田地区は塚原(つかばら)野と栗原野という二大原野で形成されていました。また、街道が縦横に走り人の往来が盛んな所でした。

栗原は、昼も暗いような雑木林が続ぎ、道筋も多く、狐や狸にたまされて道に迷ったりするので難所でしたが、地蔵さんをお祭りするとそれらのいたずらはなくなり、人々が難儀することはなくなったとのこと。

富嶋の六地蔵は、栗原から現在の場所へ移転したとされています。



### 14 下麻生嶋の六地蔵 (下麻生嶋区)

夜道を火葬場の辺りまで行くと提灯の火が消え、死んだ人の声が聞こえたことから、村人の手により地蔵さんをお祭りされたそうです。

### 15 子授地蔵 (土布子区と下麻生嶋区の間)

昔、身ごもった産婦が行き倒れとなり亡くなってしまいました。その後、村人がその場所を通ると赤ちゃんの泣き声をしたことから、子どものいない夫婦が地蔵さんをお祭りしたとされています。

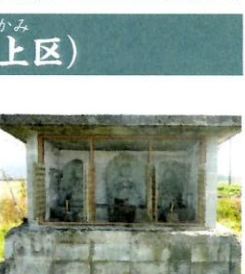
### 16 頭の重い地蔵 (森目区)

昔、村のおばあさんの夢に地蔵さんが現れて、「頭が重い、重い。」と言われました。地蔵さんを見に行くと、お堂の屋根が地蔵さんの頭にすれすれになっていたので修理をすると、それからは夢に現れなくなったとのこと。



### 17 三体地蔵 (川上区)

東本願寺建立の際、多くの木材を川嶋(川上区)の村下から真名川へ流し、三国港から船で京都へと運んだそうです。その作業中、誤って木の下となり亡くなった者がいたことから、供養の石仏がお祭りされたそうです。



### 18 山伏岩 (蕨生区城地出)

### 19 釣鐘岩 (塚原区)

蕨生区から塚原区にかけて、経ヶ岳が大噴火したときに飛んできたと言われる七つの大きな岩がありました。昭和36年からの塚原土地改良工事で破壊された物もありますが、現在は、山伏岩、釣鐘岩が残されています。

#### 山伏岩

山伏が厳しい修行をした岩で、その下には宝物が埋められていると言われていたのですが、たたりを恐れて誰も近づくことはなかったそうで、土地改良の際にも塚の周りを残しました。



#### 釣鐘岩

釣鐘の形をした岩は竜宮城に繋がっており、耳を当て、じっと聞いていると、中から竜宮の乙姫様が茶碗を洗う音がするという事です。



### 20 いぼおとし岩 (田野区)

岩の中央の穴には、どんな干ばつときにも枯れることなく水があります。この水を一文銭につけてイボを洗うと一晩のうちに落ちると言われており、今でも穴の中にお金を見ることがあります。



## 記念碑

### 21 天皇陛下行幸記念碑 (塚原区)

塚原区周辺は、「塚が千塚、道が千筋、狐が千足」と言われた広い原野でしたが、昭和20年の終戦と同時に、緊急開拓令によって入植された土地です。開拓民は慣れない鋤を振るい、裸一貫からの苦勞は並大抵のことではなかったそうです。

昭和22年10月には、開拓状況の視察に天皇陛下の行幸が実現し、その記念碑が昭和34年に竣工しました。

## 花木

### 22 日上公園の桜並木 (上野区)

平成8年、「日上」と称されるJR越美北線沿いの約200mに、上野区民が桜の苗木50本を植栽しました。以来、保全活動を行うとともに、遊歩道の造成、遊歩道の法面に芝桜7,400本を植栽しました。4月から5月には、越美北線の車窓から満開の桜並木と芝桜のジュタンを見ることができます。

